

名称

紀州の農家(昭和Ver)

和歌山県を旅して感じた建物の特徴は
 ①平屋が多く ②屋根勾配は比較的緩勾配で庇は深く ③敷地周りをブロック塀や石垣塀で囲み ④屋根の妻面は切妻・入母屋
 といった感じです。 外洋との距離が近く台風などの暴風の影響を受けやすいため、このような形になったのでしょう
 作品は昭和30年代初頭に建った和歌山の民家をイメージしています。



特集

和歌山の民家

ここでは作品の参考となった和歌山の民家を紹介します。



和歌山県中部の民家。二階建て部分は平屋より後の建築と思われる。



和歌山県南部、熊野古道沿いに建つ民家



紀勢本線沿いの民家



和歌山県南部・新宮市内の民家



和歌山県中部 有田川の民家



和歌山県南部 串本の民家